



お友だちへの“だいすき”の気持ちを、こんなふうに仕草で、動きで、伝えるようになってきました。



お友達からの気持ちを受け入れられることも難しいことですね。相手への思いやりが感じられます♪



園長：人と関わる力の根っこは「他の人々と親しむ」こと。同じだね!! やくつついたりすることが、親しさそのものなんですね。



心も身体も開放させて遊ぶ時間!

開放感が写真からも伝わってきて、こちらまで心が解き放たれてしまいそうですよね…! ☆



園長：いろいろな遊びの中で十分に体を動かし、心地よさを味わっていますね。体だけでなく、心も弾ませていますね。



水遊びのお片付けをしていた場面で、小さなアリを見つけたわかちゃん。言葉で表現できるようになったことで、「は!」と見つけた驚きや、「こわい。」と思った気持ちをたくさん伝えてくれました。

園長：小さな生命との出会い。その後どう変化していくのでしょうか。

まだ言葉では表現しきれないことも、表情や仕草でたっぷり伝えてくれていますね～わかちゃん、表現者ですね♪



トイレにピーちゃんとミケを見つけたりなちゃん。ゆびをさしてピーちゃんの口や、ミケのお顔をマネっこしていました。しっかりその特徴を拾って表現していて、その観察力にも驚かされました。



2期まとめ

見つけたもの、気付いたこと、おもしろいなと思ったもの、だいすきだよの気持ち・・・そうした自分なりの世界や感情を、誰かと共有したり、仕草や表情で伝えてくれる姿が一段と増えました。春から、いろんな友だちや大人との信頼関係が結ばれてきて、安心できる存在やだいすきな存在が増えましたね。そして、その相手に対して、「みてみて」「おもしろいね」「みつけたよ」と、同じ世界を共有したがる気持ちがたくさん現れてきたようです。こうして振り返ってみると、その関わりが、対大人だけでなく、お友だちやお手伝いのお兄さんお姉さんという関係にも広がっていく場面もたくさん見られるようになっていきますね。

園長：身近な環境への興味から、模倣を通じて共感する心が、かいまみられますね

